

2022年4月の水道料値上げの中止を求める請願

(要旨)

こんどの水道料値上げは納得できないので、2022年4月の値上げは中止してください。

(理由)

2022年4月からの水道料引上げのことを知りました。いきなり35%の値上げといわれて、暮らしや仕事にどういう影響が出るか心配です。

水道施設の老朽化に備えてお金を貯め始めるためとのことですが、その目標が5年後までに15億7千万円で、さらに50億円、100億円が必要になるという計算はよくわかりません。

水道料は、今後5年ごとに見直すとのことですが、もっと高くなるのではないかと不安です。

水道は、公衆衛生の向上と生活環境の改善になくてはならないものです。それをどう維持するか、どう負担したらいいのか、住民がきちんと判断するためにわかりやすい情報を提供し、住民の意見をていねいに聞くべきではないでしょうか。「決めてから説明する」「決めたから従ってくれ」というような考え方でよいはずがありません。

令和4年2月14日

飯塚市議会議長 松 延 隆 俊 様

請願者

[Redacted signature block]

紹介議員

川 上 直 喜

2022年4月の水道料値上げの中止を求める請願

(要旨)

こんどの水道料値上げは納得できないので、2022年4月の値上げは中止してください。

(理由)

2022年4月からの水道料引上げのことを知りました。いきなり35%の値上げといわれて、暮らしや仕事にどういう影響が出るか心配です。

水道施設の老朽化に備えてお金を貯め始めるためとのことですが、その目標が5年後までに15億7千万円で、さらに50億円、100億円が必要になるという計算はよくわかりません。

水道料は、今後5年ごとに見直すとのことですが、もっと高くなるのではないかと不安です。

水道は、公衆衛生の向上と生活環境の改善になくてはならないものです。それをどう維持するか、どう負担したらいいのか、住民がきちんと判断するためにわかりやすい情報を提供し、住民の意見をていねいに聞くべきではないでしょうか。「決めてから説明する」「決めたから従ってくれ」というような考え方でよいはずがありません。

令和4年2月14日

飯塚市議会議長 松 延 隆 俊 様

請願者

[Redacted signature area]

紹介議員

川 上 直 喜

飯塚オートレース新スタンド建設中止に関する請願

(要旨)

1. 飯塚オートレース場のメインスタンド新規建設を中止して下さい。
2. 市はメインスタンドの建て替え案・耐震補強案・スタンド撤去案の中でどれが“持続可能なレース場経営”のために最も適切か検討した上で、オートレースの経営計画・施設改善計画を作成・提出してください。
3. 市議会は、市の提出した経営計画・施設改善計画が妥当かどうか、専門家の意見を聞いた上で十分な時間をかけて議論して下さい。

(理由)

飯塚市議会におかれましては、日頃より、市政発展のためご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、ご承知の通り、飯塚オートレース場のメインスタンドを新規に建築する計画が進められており、その建設費用は36億円を超えられています。

この建設費用のうち約32億円が市債発行によって賄われるとのことですが、このことが飯塚市の財政に多大な負担を与え、並びに飯塚オートレースの経営に悪影響をもたらすのではないかと危惧しています。

私たち市民が危惧する理由は大きく分けて4点。

- ①レース場の入場者が激減している
- ②レース場の利益からの返済が現実的に不可能である
- ③先に整備すべき施設がある
- ④経営計画が無く、それに基づいた議論が十分になされていない

理由についてそれぞれ説明いたします。

- ①レース場の入場者が激減している

図1に飯塚オートレース場の年度別一日平均入場者数を示します。図から分かる様に年度別一日平均入場者数は年々減少しており、2018年には2000人を下回りました。これはスマートフォンやパソコンによる車券のネット購入が広まったことが最大の原因と考えられます。

そして新型コロナウイルスが流行し始めた2020年には外出自体を避け、巣ごもりの増加で一気に835人まで激減しました。

アフターコロナにおいて入場者はこれからも減少の一途をたどると考えられ、それに伴いメインスタンドの利用者もさらに減少するでしょう。

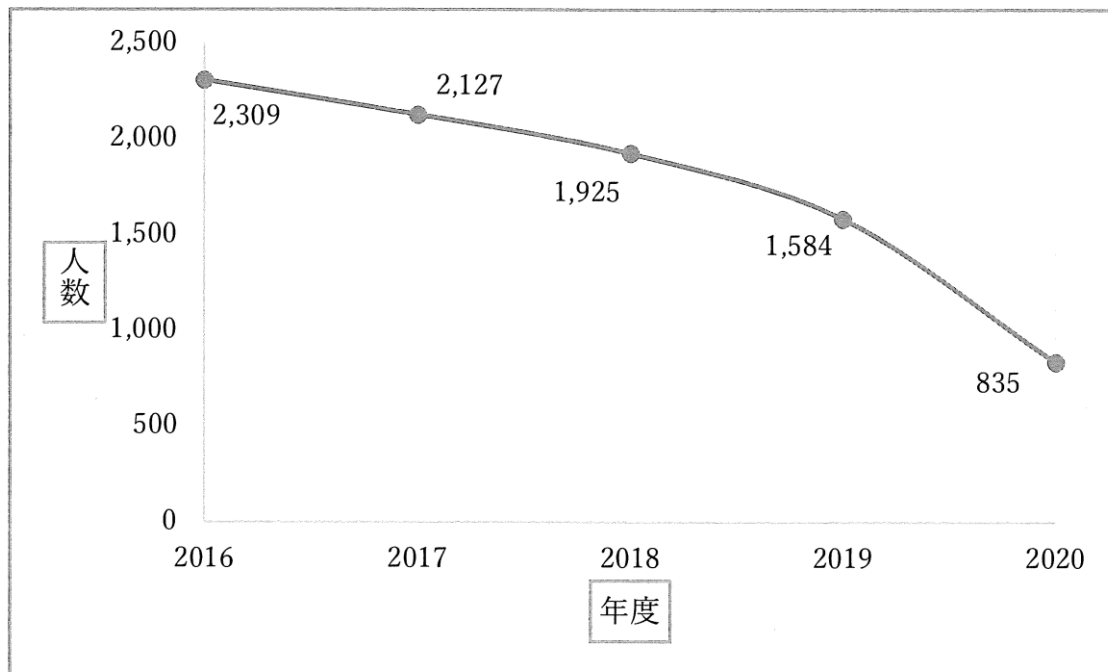


図1：飯塚オートレース場の年度別一日平均入場者数

②レース場の利益からの返済が現実的に不可能である

令和3年6月の定例会で行われた一般質問にて江口議員の「建て替え費用をレース場の利益で返済すると何年かかるのか」という質問に対し、公営競技事業所長は「約200年」と返答しています。

コロナによる影響が大きかった2020年のレース場分利益から計算したものでしょうが、コロナ以前の2019年のレース場分利益では約100年かかります。

100～200年後も飯塚オートレース場が、そもそもオートレースという競技自体が存在しているのかも分かりません。

返済している途中でレース場が無くなれば、残った借金は市が負担することとなります。

これまで20年以上もレース場は市財政への繰り入れがありません。これから更に莫大な借金を抱えるということで、「“財政貢献”という公営競技本来の存在意義をレース場は放棄したのか？」と市民は不安になっています。

1億4千万円で耐震補強ができるのならば耐震補強ですませ、早期に市への財政貢献を行うべきではないでしょうか。

③先に整備すべき施設がある

現在、飯塚オートレースの選手宿舎は4人1部屋となっています。新型コロナウイルスが依然として猛威を振るう中、選手達をそのような三密の環境にさらすのは集団感染の確率が高まり危険であると言わざるを得ません。

選手間で集団感染が起きてしまえば当然レースを開催することはできなくなり、レースの運営にも支障をきたします。

今後もコロナが完全に根絶されることは無く、インフルエンザのように毎年流行する可能性が高いといわれています。スタンドが使えなくてもレースは可能ですが、選手がいなければそれも不可能です。

“持続可能なレース場経営”という観点から見ても、スタンド建設よりも選手宿舎の方を優先して改善すべきではないでしょうか。

④経営計画が無く、それに基づいた議論が十分になされていない

本来、民間であれば事業の立ち上げや継続に必要な資金を調達する際、事業内容や企業の戦略・収益見込みなどを説明するために事業計画書を作成します。

ですが飯塚オートレースにはそれに類するものは一切ありません。

市は民間と同様に計画書を作成し、この資料に基づいて議会で議論をすべきではないでしょうか。

オートレース場は全国でも5か所しかなく、そのうちの一つがこの飯塚にあるという事は非常に大きな資産です。

レース場存続を望んでいる市民がいます。彼らは32億円という巨大な借金を背負い経営が行き詰まり、レース場が閉鎖されるのではないかと心配しています。

レース場を廃止すべきではないかと言う人もいます。彼らはレース場が20年間も市財政への繰り入れが無く、にもかかわらずさらに借金をして繰り入れが先延ばしになることに憤っています。

どちらの心配も、その通りとうなずけるものです。

以上の理由から、今回のメインスタンド建設案は一時中止し、本来のレース場の存在意義である“市財政への貢献”と市民の願いでもある“持続可能なレース場経営”を目指すため、十分な時間をかけての議論をお願いします。

令和4年2月24日

飯塚市議会議長 松 延 隆 俊 様

請願者

[Redacted]

紹介議員

江 口 徹
小 幡 俊 之